

白いシートの被覆でいちじくの品質が大幅向上 (腐敗、虫害果が減少し、甘いいちじくが採れる)

【背景・目的・成果】

■ ひょうごのいちじく栽培の問題点

- ・ 成熟時の降雨、日照不足による品質低下
- ・ 外観から分からない、虫害果(スリップス類の加害)の発生

■ 課題: 土壌水分のコントロールと害虫の行動制御による品質の向上



■ 対応策: 「透湿性白色シート」を地表面に被覆して、着色、糖度の向上、裂果、腐敗果、スリップス被害果の減少を達成



図1 黒カビ病による腐敗果

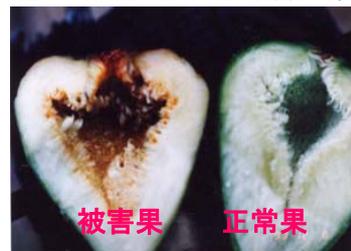


図2 スリップス(害虫)被害果

【内容】



図3 透湿性白色シートの現地被覆状況(淡路市)

1 透湿性白色シートの特性

- (1) 雨など外部からの水を通さない
- (2) 光を90%近く反射する
- (3) 地上からでる水蒸気は蒸散する

2 被覆方法

- (1) 樹列に平行に被覆
- (2) 6月中旬~7月下旬に被覆開始



図4 着色がよくなった果実

透湿性白色シートの被覆が果実品質に及ぼす影響

試験区	果重 g	着色 カラーチャート	糖度 Brix	裂果 幅mm	スリップス 被害果%	腐敗果 発生%
白色シート	87.4	7.9	17.2	10.8	7.6	33.3
無処理	92.1	7.2	15.5	19.8	19.2	86.7

- ・ 腐敗果は1日常温で放置後の発生率
- ・ 相対日射量は全天日射を100%とした地上高50cmの値

◇透湿性白色シートの効果

- 1 着色、糖度の向上
- 2 裂果(果実の目の割れ)程度の軽減
- 3 腐敗果、スリップス被害果率の減少
- 4 光環境の改善(園内が明るく)

◇透湿性白色シート使用の経済性

- 1 必要経費 : 12万円/10畝 (2~3年使用可能)
- 2 品質向上効果:
腐敗果、虫害果20%減少で、10畝約24万円の増収(400円/kgで試算)

【技術の活用】

- ◇ 県下全域のいちじく生産者(約90%)のうち導入に適するいちじく園約20%を目標として普及
- ◇ 使用上の留意点
 - ・ 樹勢を抑制し果実がやや小さくなりやすいので樹勢の弱い園には使用しない。
 - ・ 土壌が乾燥しやすいので連続晴天時にはかん水が必要→かん水設備を整備する。